

第6回 幌延町議会 臨時議会 8月12日

○質問 暖房設備をどう改善するのか。  
○答 今までの暖房は蒸気暖房で、今回、遠赤外線ヒーターを取り付ける。

○議案第1号・第2号 工事請負契約の締結について

○総合体育館等改修工事 旭川市の(株)田中組と、9千1百47万6千円で契約した。

○総合体育館等機械設備工事 旭川市の池田暖房工業(株)と、8千8百2万円で契約した。

○質問 当初の予算は2億4千万だが、両方足しても1億7千万で、安くなっている。理由は何か。

○答 電気工事が入っていない。電気工事3千7百万円を入れると、2億円になる。

○議案第3号 財産の取得について

マイクロボス25人乗り1台を、旭川市の三菱ふそうトラック・バス(株)と6百4万8千円で契約した。

○質問 文科省の補助金などはないのか。

○答 へき地補助金を利用して、道から補助金をもらっている。

○質問 なぜ見積もり合わせの随意契約になっているのか。

○答 今までスクールバスについては見積もり合わせというところでやってきた。

○質問 今までやってるから見積もり合わせで良いと思う。変えて行く考えはないのか。

○答 今後については、検討していきたい。

第4回まちづくり常任委員会 8月12日

○調査事項

○幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略について

▽これまでの状況と経過

①本部会議の開催状況

2月19日、3月16日、4月20日、6月26日、8月13日の5回開催した。

②創生会議の開催状況

3月20日、5月25日、6月30日、8月21日の4回開催の予定。

③地方創生講演会の開催

6月2日、北大の石井吉春教授を講師に開催した。

④総合戦略策定のためのアンケート実施

⑤地方創生懇談会

8月19日国際交流施設、8月24日問寒別生涯学習センターで開催。

⑥人口ビジョン(素案)について

▽今年5月に行ったアンケート調査の結果

●回答数は1百26件、回収率は11・93%。

●意見提出の内訳は、男性

が1百3件、女性が23件だった。

●年齢構成は、50代が一番多く、次に60代、40代、20代以下となっている。前回の総合計画と比較すると、今回は20代以下が14%、30代は9%と少し低いがある程度まんべんなく世代間からの意見が出た。

●職種については、サービス業が最も多く、勤務先については道内の他市町村からの転入の方が多かった。

●人口減少・高齢化が幌延に与える影響について

※大きな影響があるという回答が大半を占め、82・4%。※その他、町の賑わいや活気がなくなってきた。働き手が少なくなった。通院や介護に影響が出ているという回答が多かった。

※多くの人が、町の人口減に対しての危機感を持っている。●少子化に歯止めをかける

ために必要な取り組み ※若い世代への雇用の充実や生活の安定を求める声が多かった。

※妊娠、出産への支援、子育てに対する支援、仕事と両立出来る職場環境づくり、多子世帯への支援について、それを実施するよう求める回答が多かった。

●幌延町の今後、町の創生を進めるうえでの必要な取り組みへの評価

※町の新たな仕事づくり、町への新しい人の流れづくり、若い世代における結婚、出産、子育て希望の実現、時代に合わせて地域づくり、地域と地域を連携するとい

